

会議結果 (会議の様子は、県議会ホームページの「議会議中継」からご覧いただけます。)

11月

2日
 予算決算常任委員会各分科会
 決算認定議案の審査
 4日
 予算決算常任委員会各分科会
 決算認定議案の審査
 常任委員会
 (防災農水商工・健康福祉病院)
 所管事項の調査
 9日
 予算決算常任委員会
 決算認定議案の審査、平成23年
 度当初予算編成に向けての基本的
 な考え方についての調査
 政策総務常任委員会
 所管事項の調査
 25日
 本会議
 決算認定議案12件認定、
 議案54件・議提議案1件上程
 30日
 本会議
 一般質問(5名)、
 議案に関する質疑(4名)、
 議案12件・議提議案1件可決、
 意見書案1件上程・可決
 予算決算常任委員会各分科会
 議案の審査
 常任委員会
 (生活文化環境森林・県土整備企業・教育警察)
 議案の審査

予算決算常任委員会
 議案の審査

12月

2日
 本会議
 一般質問(4名)
 6日
 本会議
 一般質問(4名)
 7日
 予算決算常任委員会
 平成23年度当初予算要求状況の調査
 9~14日
 各常任委員会・分科会
 議案等の審査、所管事項の調査
 17日
 本会議
 議案5件上程、
 議案に関する質疑(2名)
 予算決算常任委員会各分科会
 議案の審査
 予算決算常任委員会
 議案の審査
 21日
 本会議
 議案47件可決、
 請願5件採択・1件不採択、
 意見書案10件上程・8件可決、
 議提議案1件上程・可決、
 人事同意議案1件上程・同意



提出された陳情

- 高見ハイツ汚水処理施設に關
 することについて
- 国の責任による社会福祉施設
 の充実を求める意見書の提出
 を求めることについて
- 社会福祉施設に係る最低基準
 の廃止を行わず、抜本的に改
 善することを求める意見書の
 提出を求めることについて

議会改革諮問会議

県議会の議会改革の取り組み
 を検証するため設けられた議会
 改革諮問会議(学識者など5人
 で構成)では、昨年5月の第一
 次答申の中で整理した「今後さ
 らに議論すべき主要課題」の6
 つの項目のうち、①「会期等の
 見直し」によるバランスの取れ
 た議会活動の在り方、②議員間
 討議の充実と議員の資質向上、
 ③議会活動、会派活動、議員活
 動の役割と関係の整理の3項目

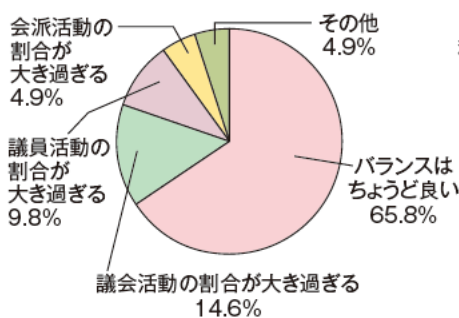
について、検討していくため、「議会・会派・議員活動」にか
 かる状況把握アンケートおよび
 会派活動ヒアリングを実施しま
 した。

アンケートの結果、議会・会
 派・議員活動の3つのバランス
 は、議会活動が32・2%、会派
 活動が19・7%、議員活動が
 32・7%、私的活動が15・4%
 となっており、議員の現状認識
 としては、「バランスはちょうど
 良い」が65・8%、「議会活動の
 割合が大き過ぎる」が14・6%、
 「議員活動の割合が大き過ぎ
 る」9・8%、「会派活動の割合
 が大き過ぎる」が4・9%など、
 多くの議員は、現状を肯定
 している状況となっています。

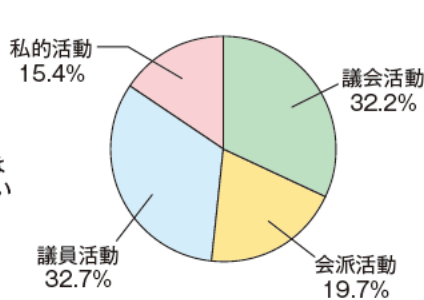
しかし、3つの活動にかかる
 今後の意向としては、「議員個
 人の調査・研修等を充実させた
 い」が64・1%、「議会(委員
 会等)での調査・審議等を充実
 させたい」が20・5%、「会派
 での調査・検討等を充実させた
 い」が7・7%など、議員個人
 の活動を充実させたいとする意
 向が表れています。

また、会派活動ヒアリングの
 結果、県議会では、各会派での
 検討結果を持ち寄って議論を深
 め、議会としての意思を一つに
 まとめていくっており、二元代表
 制の一翼を担っていく上でも、

議員の現状認識



議会・会派・議員活動の3つのバランス



平成22年9月に三重県議会議員を対象に実施。(回答者数45人 回答率91.8%)

会派の役割は重要であることが
 確認されました。

このため、議会活動だけでなく、
 会派や議員の活動も含め
 て、3つの活動全体のバランス
 を図りながら、会期の在り方に
 ついても検討していく必要性が
 改めて確認されました。

今後、諮問会議では、これま
 での検討内容を取りまとめ、具
 体的な議会改革の改善に向けた
 最終答申をいただく予定です。